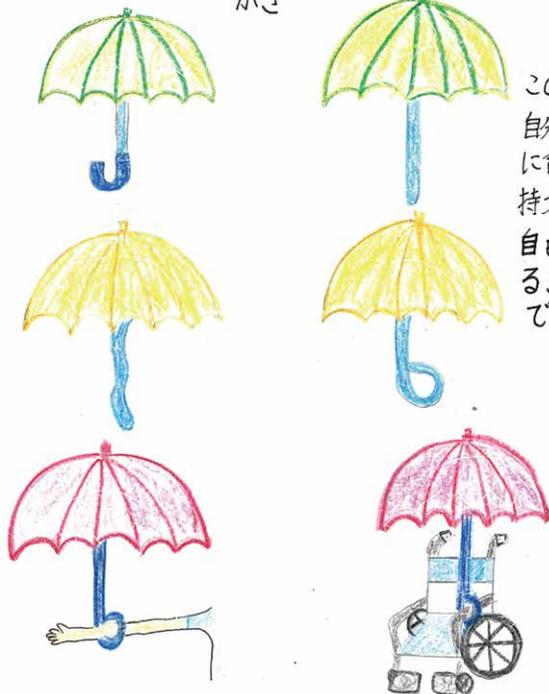




アイデア部門

大賞

ふっこの
かさ



このかさは自分の持ち方に合わせて、持つ所を自由にまげることができます。

ほかにも手の力が弱い人は、うでにまきつけて使用し、車いすを使用している人は、ひじおきの所にまきつけて使用することができます。

楽ちんかさ

まつおか あい か
松岡 愛華 京都教育大学附属京都小中学校 5年

誰もが自分の持ち方に合わせて使用できるという点がユニバーサルデザイン。

手の不自由な人や車いすを使っている人でも楽ちんに使えるということを工夫した。

【審査委員コメント】

車いすの人、シルバーカーを使っている人、手の不自由な人、荷物を持っている人、いろんな立場の人が使いやすくなるよう工夫したこと、取っ手が曲がるという点に斬新さを感じた。

誰もが、その人に合わせた楽な使い方ができるという点は、まさに「ユニバーサルデザイン」の考え方そのものである。



UDショートメッセージ部門

大賞

みんながい心ちの良い、きっ茶店

近所のきっ茶店には視覚障害の方が多く来られます。なぜかと思って見ているとすべての人に日替り定食のメニュー（2種類）をさりげなく説明し、持っていく時も「今日は右上が〇〇で右下が…」とどこに何があるかを説明されます。きつと障害があるという事を強調しない対応が心ちよいのだと思った。

ささに ゆう ひ
笹谷 柚日 京都教育大学附属京都小中学校 5年



【審査委員コメント】

障害のある方へのさりげない配慮に着目した点、そのような自分と違う他者への思いやりの気持ち、周りの人の居心地をよくしている点に共感した。

さりげない心配りが隠されていることに気付いた時の感動が、如実に表現されている。

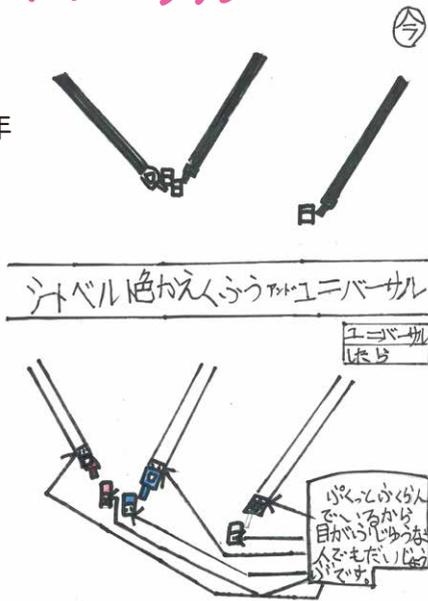


シートベルト色かえくふう アンドユニバーサル

やまもと りな
山本 里菜
七条第三小学校 4年

分かりやすいように色を1つ1つ違う色にした。

目が不自由な方のために丸く膨らんだ所を触れば大丈夫なように工夫した。



【審査委員コメント】

シートベルトを付ける所を色で示すのは、単純で分かりやすいし、触っても分かるようにしているのは、視覚障害のある方にも配慮されている。

簡単な工夫で、普及のしやすさ、実現可能性も評価した。

簡単芯入れ

たけもと はるか
武元 晴香
桂中学校 2年

いつもシャーペンの芯が交換しにくく、大体折れてしまったり落ちてしまったりするが、これがあれば子どもでも、細かい作業が苦手な人も簡単に芯を入れることができる。

1本ずつ入れることができるので、入れ過ぎてしまうこともない。

簡単 芯入れ

〈今までの芯入れ〉



改善すべき点

- 1本ずつ出るようにする。
- 誰でも簡単にやりやすくする。
- 短時間でできるようにする。

〈簡単 芯入れ〉



【審査委員コメント】

身の回りの切実なニーズの一つであり、そのことに着目したこと、簡単な工夫で利便性を高める非常に良いアイデアである。

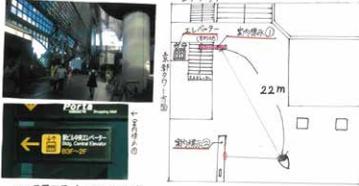
京都駅における案内標示の文字の改善

あさの ゆうり
浅野 優里

たくさんの方が利用する駅なので、健常者だけでなく、視覚に障害のある方に対しても配慮のあるデザインを考えた。よりエレベーターの存在を気づかれやすくするため、視認性の高い配色を意識的に取り入れた。学術的な簡略式を使用し、具体的な数字を提示するなど分かりやすくなるよう工夫した。

京都駅における案内標示の文字の改善

○現状分析



○問題点の検討

①文字の大きさ
文字が見える為に必要な文字高の概算式(E.ann/Jean-Fr)
文字高=視距離/200

案内標示②に同様の内容の標示が示されている。それを見ても、適切な場所から案内標示①までの距離は約22mなので、 $2200cm/200=11$ cmが必要。しかし実際は約3cmしかない。

②コントラスト
コントラストが小さく、可視性が低い。

○解決案

文字高を11cm以上にし、コントラストを大きくする。高さを増し、文字の強度を減らす。点動スチールを避け、エレベーターの存在をより分かりやすくする。

【審査委員コメント】

分かりやすい案内表示があると、安心して、目的地にたどり着ける。

身近な体験から現状を確認して、既存のものを改善、工夫することでより分かりやすくなるというところを評価した。

声かけwelcome

みはら
三原 めぐみ

京都国際マンガミュージアムにあやかり、漫画の吹出しイラストの形態を用いて親しみやすさをアピールするとともにインパクトアップを図った。軽いタッチのワードでハードルが上がらないように考えた。

街中で見かける障害のある方、ベビーカーを押すママ、御高齢の方など何かしら大変そうにしているが、声を掛け辛い場面があるので、そんな時に、ひと声掛けるのに一助になるのではと思いついた。



【審査委員コメント】

声を掛けることをためらってしまう人もいます。助けてほしい人も、気を遣って言いにくいこともある。言葉が入ることで、より声掛けしやすくなることは双方にとってよい。



車いす専用バス

すぎやま よしのぶ

杉山 嘉伸 京都教育大学附属京都小中学校 6年

車いすの人が普段バスに乗ったり降りたりするときに大変そうだから、車いすの人でも簡単に乗れるように工夫した。

また、車いすの人がバスに乗るときに周りの人に迷惑を掛けているとの思いから、外へ出なくなることをなくすために考えた。



【審査委員コメント】

「障害のある人が、外出をやめることがないように」という思いは、当事者の気持ちを楽しにする。例えば、女性専用車両同様にメリットも考えられるのではないかな。

また、スロープが出てくるのは、高齢の人などにも便利である。

お菓子の袋を触るだけで味が分かる。

たなべ さき

田邊 沙紀 京都教育大学附属京都小中学校 6年

目の不自由な人は、お菓子を買うときに自分が食べた味がどれか分からないと思った。

袋の一部に、点字やにおいなどを付ければ、大人でも子どもでも味が分かると思い、このように工夫した。

ポテチの袋を触るだけで味が分かる。



味がどちらか分からない
(目の不自由な人は)



目の不自由な人でも触るだけで味が分かる

大人は、点字と匂いを合わせてお菓子を選べるといいな、と自分なりに考えた。

【審査委員コメント】

点字や臭いで分かるようにすると、視覚に障害のある人など、自分一人で見て選ぶことが難しい人も選べるようになるのではないかな。シンプルで役に立つアイデアである。

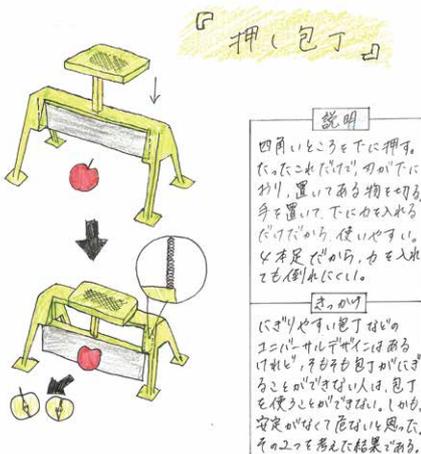
押し包丁

うえがま い おり

上釜 伊織 桂中学校 2年

手に力が入りにくい人や、握ることが難しい人などを対象にしたもの。これは、レバーに手を置いて、下に押すだけだから、握ったり、あまり力を入れなくても済む。また、レバーが広いから、失敗することが少ない。刃と本体の間にバネを入れることで、レバーを押した後、勝手に上に戻ってくる。刃の長さを長くして、どのような大きさのものでも一応は切れる。

安全で、楽で、さらに安定するようなデザインにした。



【審査委員コメント】

「握りやすい」物は既にあるが、「そもそも握ることができない」という人に対する配慮という気付きがよい。押した後、ばね仕掛けで元へ戻すことにも工夫がみられる。

バスケット色鉛筆

やまもと みゆき

山本 幸 桂中学校 2年

色覚障害のある方にも色がすぐに分かるように、先端にはその色に合った果実のイラストを入れ、見えるように立てる色鉛筆となっている。

使う人に親しみを持ってもらいたいという思いから、ケースをバスケットのデザインにし、フルーツバスケットのような可愛い色鉛筆にした。



【審査委員コメント】

見落としがちなところに気付いたところ、見た目の分かりやすさもよいが、見ていて楽しいところもよい。



優秀賞

キッカケ

体が不自由な方にドアを開けてあげた時「ありがとう」と笑顔で言われた。恥ずかしかったけれど嬉しくなった。今では周りをよく見れるようになり、後ろに人がいたらドアを開けておくこと、エレベーターでは最後に降りることが当たり前になった。「ありがとう」を今では笑顔で答えられるようになった。

しおかわ ちひろ

塩川 千尋 京都すばる高等学校 2年

【審査委員コメント】

実体験をきっかけに、他者への気配りの姿勢を学んだ点が非常によい。互いに「ありがとう」を言い合う情景が見え、その大切さも感じられる。

のび～るハンガー

いば しおり

伊庭 菜 桂中学校 2年

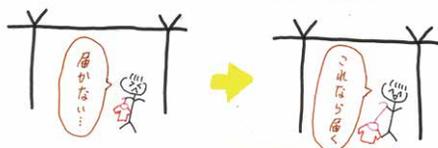
〈のび～るハンガー〉

普通の短いハンガーだと子どもや身長の高い方、お年寄りの方にとって干しにくい、長く伸びることで干しやすくなっている。

どの年代の方でも洗濯物を楽に干すことができ、ストレスもなくなる。



子ども、身長の高い方、お年寄りの方がラフにハンガーを使って、洗たく物が干せます!!



短いハンガーだったのが

のびて長いハンガーになり、干しやすくなった

【審査委員コメント】

高い位置にある物干し竿に、背の高い低いに関係なく誰でも楽に干すことができるのがよい。

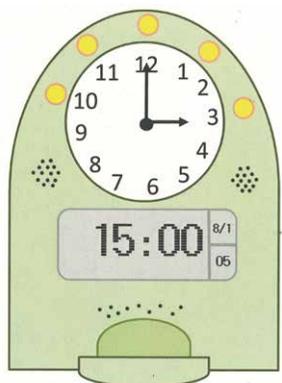
簡単な工夫で改善できる点、実現可能性を評価した。

薬そく時計

こだん ひなみ

小段 陽菜実 京都すばる高等学校 2年

物忘れのひどい方などで、何の薬を飲むか、どこに薬をしまったか、いつ飲むか、さっき飲んだかなどを忘れてしまい結局飲まなかったりしてしまう。はっきりした音、音声で薬を飲む時間を教えてくれるだけでなく、時計から必要な分だけ薬が出てくる。音と光で教えてくれるので、視覚障害者、聴覚障害者の方でも使用することができる。音で知らせるとほかの人の迷惑になるかもしれない時は、バイブレーションに設定することもできる。また、見やすいように字を大きくし、薬の取出し口には、視覚障害の方でも分かるように点字を付けた。



【審査委員コメント】

時計が知らせてくれるという着眼点がよい。時間になると自動的に薬が出てきて、音声や光などで知らせてくれるのは、視覚障害や聴覚障害のある方にもよく考えられている。

佳作

ふつうの子

「障害者」というだけで知られている女の子がいた。その理由を知った時、私は思った。「出来る事が、少し違うだけなのにな…。」ある日、その女の子に会った。話してみると、皆と変わらない子だった。「障害者」と言うが、心は皆と同じなのだ。私はその子と、とても仲良くなれるような気がした。

たかはし ふみか

高橋 文香 京都教育大学附属京都小中学校 5年

【審査委員コメント】

会って、話して、理解できた心の動きを伝えるメッセージが広く社会に伝わり、共感を生む。こういった感覚が小学生から身に着き、当たり前になるとよい。

みやこユニバーサルデザイン賞とは

京都市では、誰にでも利用しやすいものやサービス等の普及を目指す、ユニバーサルデザインの考え方を、多くの皆様から知っていただくとともに、ユニバーサルデザインの取組を推進するため、市民の皆様からアイデア等を募集し、優れたものを「みやこユニバーサルデザイン賞」として顕彰しています。

平成30年度は、「生活の中のユニバーサルデザイン」をテーマに「アイデア部門」と「UDショートメッセージ部門」の作品を募集し、京都市みやこユニバーサルデザイン審議会における部会での厳正な審査の結果、14件の受賞作品を選定いたしました。

■審査委員（五十音順）

氏名	所属・職名等
伊藤 省二	市民公募委員
神岡 茂子	京都YWCA
桑原 教彰	京都工芸繊維大学教授
高岡 俊裕	京都新聞社会福祉事業団事務局長
福山 隆夫	京都商工会議所常議員
古川 敦子	京都市身体障害児者父母の会連合会
松田 めぐみ	京都弁護士会・弁護士 〈部会長＝審査委員長〉
宮井 真澄	京都市児童館学童連盟理事 〈副部会長〉

■平成30年度受賞(応募)数

14件（応募件数1,132件）



平成30年度みやこユニバーサルデザイン賞の所感（審査委員長）

【アイデア部門】

今年度の大賞は小学生からの提案である「楽ちんかさ」でした。傘を利用する様々な立場の人が使いやすい物にするという視点、傘の柄の部分自由自在に変形するというユニークな発想が高く評価されました。

優秀賞は「シートベルト色かえくふうアンドユニバーサル」(小学生)、「簡単芯入れ」(中学生)、「京都駅における案内表示の文字の改善」、「声かけwelcome」(一般)が選ばれました。身近な物、場所をより使いやすいものにしようとする提案の他、心のユニバーサルを呼びかける提案もあり、いずれも実体験に基づく発想や工夫が評価されました。

アイデア賞は「車いす専用バス」、「おかしを袋で触るだけで味が分かる。」(小学生)、「のび～るハンガー」、「押し包丁」、「バスケット色鉛筆」(中学生)、「菓そく時計」(高校生)が選ばれました。これらの提案も日常生活の中での気づきから改善につなげる発想や工夫・表現が評価されました。

【UDショートメッセージ部門】

UDショートメッセージ部門は、大賞に「みんながい心ちのいい、きつ茶店」(小学生)、優秀賞に「キッカケ」(高校生)、佳作に「ふつうの子」(小学生)が選ばれました。ちょっとした思いやりを実行すること・見ることで優しい気持ちになれば、周りの雰囲気も良くなるというエピソードが評価されました。

■問い合わせ先

きょうと し ほ けん ふく し きょくしょうがい ほ けん ふく し すい しん しつ すい しん たんとう
京都市保健福祉局障害保健福祉推進室 みやこユニバーサルデザイン推進担当

きょうとし なかぎょうくかわらまち おいけさが しもまる やちよう ぼんち かい
〒604-8006 京都市中京区河原町御池下丸屋町394番地Y・J・Kビル3階

TEL 075-222-4161 FAX 075-251-2940

Eメール syogai@city.kyoto.lg.jp

ホームページ <http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000051996.html>

みやこユニバーサルデザイン **検索**

この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ！

